

\*教育目標や重点目標・具体的計画に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行い、中間評価を基に、2学期以降の教育活動における重点目標を達成するための重点項目を定めました。  
 \*アンケートは A（十分に成果があった）、B（成果があった）、C（少しの成果があった）、D（成果がなかった）の数値を割合で示しています

評価項目	評価指標	評価	学校としての成果と課題及び改善方策 成果(O) 課題(A) 改善方策(C)
<b>I 進んで学習し、知性をみがく生徒（知） (1)基礎基本の定着と学ぶ意欲を育む「学習指導」</b>			
①個人差に応じた指導と基礎基本の習得を図る学習指導 (知る喜び、分かる喜びを体得し、意欲をもって学習する生徒)	・基礎的基本的な事項を明確に、個に応じた指導を行っている。 ・生徒の8割以上が、アンケートで「毎日の授業を通して、各教科の基本的な学力が身につけていると感じている。」と答えている。 ○生徒アンケート ABの割合 95、2%	3.2	○それぞれ各教科においては、確認テストやふり返りの場面の設定などを取り入れ、個に応じた指導が行われている。 △基礎的基本的な事項の定着については個人差はあるが、底上げが必要である。 □ICTの効果的な活用や、子どもの実態に応じたTTを工夫し、個に応じた指導の充実を図る。
②学ぶ目的を知り、計画表などの取組により学ぶ環境を整える力の育成 (進んで学び、主体的に学習を進める生徒)	・朝学習や、計画表、振り返りシート等の取組を通して、生徒の学習への主体性の育成を図っている。 ・生徒が、自分の課題や特性に応じて学習に取り組む様子が見られた。	3.0	○朝学習や計画表、振り返りシートの取組によって、生徒は見通しをもち、計画的に学習に取り組む様子が見られた。 △学習習慣が身につけていない生徒や、主体的に学習を進めることのできない生徒も見られる。 □今後もしばしば細やかな指導を行い、学習意欲が高まる指導方法の工夫が必要である。
③自分にあった学びの定着を図る指導 (各教科の学び方や家庭学習の習慣が定着できた生徒)	・各教科指導で、授業や家庭での学習方法について指導したり、計画的に課題、宿題を与えたりしている。 ・生徒の8割以上が、アンケートで「家庭学習の手引き」や家庭学習ノート等の取組を行っており、家庭学習の習慣が身についた」と答えている。	3.3	○家庭学習に取り組む生徒が多く、ほとんどの生徒が家庭学習の習慣が身につけている。 △家庭学習の取り組み方に差があり、学習の質を高めていく必要がある。 □個に応じた学習の仕方を指導し、宿題や課題の与え方について工夫が必要である。
④表現力やコミュニケーション能力の育成 (教科や学活・総合等において、豊かに自己表現できる生徒)	・各教科で、単元を貫く言語活動や部分的な言語活動を適切に位置付け授業を通して表現力やコミュニケーション能力を育成している。 ・生徒の8割以上が、アンケートで「あなたは、人前で発表したり、自分の意見をしっかりと伝えることができています。」と答えている。 ○生徒アンケート ABの割合 71、5%	2.6	○指名されて自分の意見を述べたり、準備をして発表したりすることはできている。 △自ら進んで発表したり、話し合いや討論したりすることが苦手な生徒が多い。 □教科や、学活、総合的な学習の時間など様々な場面で言語活動を意識した指導を進めていく。
<b>II 自然や人間を愛し、心豊かな生徒（徳） (2)豊かな心を育み、生き方を自覚させる「道徳教育」 (3)感動体験と自主的実践の態度を育む「特別活動」</b>			
①言葉づかいやあいさつなど基本的な生活習慣の定着 (明るく闊達で生き生きとした生徒)	・学校の教育活動全体を通じて、全教職員であいさつや正しい言葉遣いをするよう指導を行っている。 ・保護者の8割以上が、アンケートで、「あなたのお子様は、あいさつや言葉づかいがしっかり身に付いている」と答えている。 ○保護者アンケート ABの割合 70%	2.9	△あいさつはできているが、自分から元気に積極的にあいさつする生徒は少ない。 □あいさつの大切さや意識付けなど、学級や生徒会、集会などを通して継続的に指導していく。
②思いやりの心やボランティアの心、人間としての生き方を培う指導 (自らを律し、相手の心を推し量りながら共感的に心を通わせる生徒)	・豊かな心を培い、ボランティア精神を伸長させる教育活動の見直し・改善に務めている。 ・生徒の8割以上が、アンケートで「様々な体験活動や生徒会を中心としたボランティア活動に取り組んでおり、思いやりの心をもって生活することができている(他の人の立場になって考える。嫌なことはしない等)」と答えている。 ○生徒アンケート ABの割合 95、3%	3.2	○ボランティア活動に一生懸命に取り組む、思いやりの心が育っている。 □今後もボランティア活動を継続し、相手の立場になって考えるなど、思いやりの心の育成に努める。
③豊かな心や生き方を培う道徳の時間の充実 (「私の道徳」、「心のノート」等の有効活用)	・「私の道徳」、「心のノート」を活用した道徳の時間の指導方法、指導体制、指導内容の工夫・改善に務めている。 ・保護者の8割以上が、アンケートで「様々な体験活動や生徒会でのボランティア活動、道徳学習などを通して、思いやりの心の育成に取り組んおり、あなたのお子様に、その成果があらわれていると思う」と答えている。 ○保護者アンケート ABの割合 80%	3.3	○道徳の年間指導計画に基づき、豊かな心や生き方を培う道徳の授業がわれている。 □今後も道徳の授業を推進し、指導方法や指導内容の工夫・改善に努める。
④生徒の自主性を高め成功感・成就感をもてる行事の工夫と生徒の主体性を育む生徒会活動の活性化	・生徒が自分たちで考え進める学習活動や協力しながら取り組む必要のある活動を学校行事に位置付けている。 ・生徒の8割以上が、アンケートで「学校行事(運動会、修学旅行など)に意欲的な姿勢で楽しく取り組めた。」と答えている。 ○生徒アンケート ABの割合 95、3%	3.1	○生徒が主体的に取り組めるような活動を学校行事に位置づけ、リーダーを中心に協力して、意欲的に取り組んでいる。 □今後も各学年で適切な指導を行い、生徒たちが自分で考えて活動するような工夫をしていく。
<b>III 身体をきたえ、最後までやりぬく生徒（体） (7)生命の尊重と進んで体力の向上に取り組む「健康・安全・食育指導」 (10)部活動「体育指導」</b>			
①進んで運動に親しみ、仲間と協力し最後まで取り組む指導 (運動会、陸上大会、部活動等)	・生徒の実態に応じて、学校全体で体力向上に向けた取組の見直し・改善・充実に務めている。 ・保護者の8割以上が、アンケートで「あなたのお子様は、部活動に意欲的に取り組んでいる(いた)」と答えている。 ○保護者アンケート ABの割合 95%	3.3	○部活動や体育的行事へは意欲的に取り組んでいる。 △日常的な体力の底上げが必要である。 □体育の授業や体育的行事・部活動を通して、運動の楽しさを感じ取らせさせ、体力向上にむけた日常的に取り組ませしていく。
②危機管理意識を高め、安心・安全な学校づくりの推進 (避難訓練、不審者対策、交通安全、食の安全の指導など)	・学校の安全管理体制の整備、防犯教育の充実、施設設備の整備、教職員の危機管理意識等の向上が図られている。 ・保護者の8割以上が、アンケートで「あなたのお子様は、学校生活を楽しく安心して送っていると思う。」と答えている。 ○保護者アンケート ABの割合 100%	3.5	○生徒にとって安心・安全な教育環境となっている。 □今後も危機管理意識を高め、安心・安全な学校づくりを推進していく。
<b>IV 主体的・協働的に取り組む生徒の育成～自己有用感をベースに～ 樹海中学校いじめZERO基本方針</b>			
①主体的・協働的に取り組む生徒の育成を意識した学習指導の工夫	・生徒が自分たちで考え進める学習活動や協力しながら取り組む必要のある活動を授業に取り入れ展開している。 ・生徒たちが積極的に学習する姿や、共に協力し助け合いながら学習に取り組む姿が見られる。	3.0	○授業中などでは、生徒たちが協力したり助け合いながら学習に取り組む姿が見られる。 □生徒たちが、自分で考え進めることのできる学習課題の提示や、協働的に取り組めるための学習展開の工夫が必要である。
②主体的・協働的に取り組む生徒の育成を意識した学級経営の工夫	・生徒が自分たちで考え進める学習活動や協力しながら取り組む必要のある活動を学級活動に位置付けている。 ・生徒たちが積極的に学級活動に参加する姿や共に協力し助け合う姿が見られる。	3.3	○学級活動においては、生徒が自分で考えて進めていけるような活動を工夫をし、また、生徒たちは主体的・協働的に取り組んでいる。 □今後も主体的・協働的に取り組む生徒の育成を意識した学級経営を工夫していく。
③「自分への気付き」、「他者とのかわわりと感謝」、「自分の可能性など、自尊感情を高めるための視点を意識した生徒指導の工夫	・生徒に自己有用感をもたせ、自己決定をさせるとともに、共感的な人間関係を築く学級経営等を行っている。 ・生徒の8割以上が、アンケートで「今学期、自分の「よさに気づくこと」や周りの人に「ほめられたこと」、「感謝されたこと」がある。」と答えている。 ○生徒アンケート ABの割合 80、9%	3.0	○日頃から、子ども達とのコミュニケーションを大切にし、「認める」や「ほめる」を心がけているため、生徒の自尊感情が高まっている。 △自己肯定感の低い生徒もいる。 □今後も共感的な生徒指導に努め、生徒の自尊感情を高めるための指導を行っていく。
④いじめ防止に向けた意識啓発と未然防止のための日常的な取組	・いじめ防止基本方針に基づき、全ての教育活動を通じた道徳教育及び体験活動等の充実を図っている。 ・生徒の8割以上が、アンケートで「あなたは、毎日の学校生活を楽しく安心して送っている。」と答えている。 ○生徒アンケート ABの割合 95、2%	3.3	○大多数の生徒が「毎日の学校生活を楽しく安心して送っている」と答えている。 △一人の生徒が「学校での生活が楽しくない」と答えており、その理由を分析し改善策を考えていく。 □今後も情報の交換・交流・共有により生徒理解を深めていく。

【保護者・生徒のアンケート集計】

No.	教育活動の項目	保護者回答割合				生徒回答割合			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	生徒は一人一人が明るく元気で安心して毎日の学校生活を送っていますか。	55%	45%	0%	0%	47.6%	47.6%	4.8%	0%
2	各教科での個人差に応じた学習展開の工夫など毎時間の授業を通して、一人一人に基本的な学力が定着していると思いますか。	15%	55%	25%	5%	19.0%	76.2%	4.8%	0%
3	「家庭学習の手引き」や家庭学習ノート等の取組を通し、家庭学習の定着をめざしています。生徒にその成果があらわれていると思いますか。	20%	40%	35%	5%	33.3%	57.1%	9.5%	0%
4	「よさに気づくこと」や「ほめられたこと」等から自身をもち、やる気や確かな自我の高まり、新たなことや困難なことに生徒は取り組んでいましたか。	10%	75%	15%	0%	33.3%	47.6%	19.0%	0%
5	授業などを通して、自らの考えや思いを表現する力が身につけていると思いますか。	15%	60%	20%	5%	28.6%	42.9%	23.8%	0%
6	生徒にとって、毎日の授業がわかるように行われていると思いますか。	20%	60%	20%	0%	42.9%	57.1%	0%	0%
7	生徒一人一人のあいさつや言葉づかいがしっかりできていると思いますか。	10%	60%	30%	0%	47.6%	33.3%	19.0%	0%
8	豊かな体験活動や道徳学習の充実を通して、生徒一人一人に思いやりの心や、ボランティア精神が身につけてきていると思いますか。	15%	65%	20%	0%	42.9%	52.4%	0%	4.8%
9	総合的な学習の時間の取組をはじめ、地域の自然や産業を生かした特色ある教育活動の成果はあらわれていると思いますか。	20%	70%	10%	0%	61.9%	28.6%	9.5%	0%
10	生徒は、修学旅行や運動会などの行事に役割を自覚して積極的に取り組んでいると思いますか。	50%	40%	10%	0%	66.7%	28.6%	4.8%	0%
11	生徒は部活動に意欲的に取り組んでいると思いますか。	55%	40%	0%	5%	76.2%	19.0%	4.8%	0%

2学期の重点指導項目

～学校評価・各種アンケート等から～

- 進んで学習し、知性をみがく生徒
  - 一人一人の生徒に応じた指導の充実を図るとともに、生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着を図る指導に努める。
  - \*2学期の終了時に行うチャレンジテストの結果が、全学年において全道平均以上を取ることができるように取り組む。
  - 教科の特性に応じた思考・判断を伴う言語活動を充実させ、自らの考えや思いを表現する力をより一層伸張する。
- 自然や人間を愛し、心豊かな生徒
  - 教職員へのあいさつだけでなく、生徒同士のあいさつや来客へのあいさつ、地域でのあいさつの大切さや意義を学級や生徒会・集会などの活動において、継続的に指導を進める。
  - 支持的な風土に支えられた、伸び伸びと楽しく学校生活を送ることが学級経営に取り組む。
- 心身をきたえ、最後までやり抜く生徒
  - 一人一人の生徒に応じた指導の充実を図るとともに、生徒の体力向上を図る指導に努める。